

2020年度 課題研究指導実施方針

教 員 名	國方 明
指 導 分 野	<p>本課題研究指導では、金融機関や金融市場を対象とする実証分析の指導を行う。例えば、福田編(2017)や山沖・茶野編著(2018)が、金融を題材にした実証分析を扱っている。本課題研究指導の受講を希望する人は、一部分でも構わないのでこれら文献を面談前または面談時に一読して、実証分析のイメージを掴んでもらいたい。</p> <p>なお、上記文献を、指導分野を説明するための参考として紹介した。実際の指導では、必ずしも上記文献にこだわらず、修士論文または研究調査のテーマに強く関連した文献を読む予定である。</p> <p>文献リスト(参考)： 福田慎一編(2017)、『金融システムの制度設計』、有斐閣。 山沖義和・茶野 努編著(2019)、『日本版ビッグバン以後の金融機関経営』、勁草書房。</p>
指 導 方 針 (指 導 の 概 要 ・ 日 程 等)	<p>[修士論文]</p> <p>実証分析の学術論文を執筆する際に、一般的に次の作業が必要となるだろう：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマを設定する。 2. テーマに即した先行研究を渉猟し、検証すべき仮説を設定する。 3. 仮説を検証するためのデータを収集する。 4. データを加工して分析する。 5. 分析結果を解釈する。説得的な解釈が求められる。 6. (4 や 5 と並行して)論文を執筆する。 <p>本課題研究指導では、上の 6 個の作業について指導を行う。</p> <p>日程については、原則として、1～3 にかかわる指導を春学期中に、4～6 にかかわる指導を春学期よりも後に、それぞれ行う予定である。但し、修士論文を完成させるために必要と認める場合、この日程を変更する可能性が有る。</p> <p>なお、酒井(2015)が学術論文の^{さくほう}作法を、田中(2012)が Microsoft Word の操作技法を、それぞれ紹介している。本課題研究指導の受講者は、できる限りこれら 2 冊(少なくとも酒井(2015))を入手して、論文執筆に役立ててほしい。</p> <p>文献リスト： 酒井聡樹(2015)、『これから論文を書く若者のために 究極の大改訂版』、共立出版。 田中幸夫(2012)、『卒論執筆のための Word 活用術』、講談社ブルーバックス。</p>
	<p>[研究調査]</p> <p>修士論文に準じた指導を行う。</p>